

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) **公開特許公報 (A)**

(11)特許出願公開番号

**特開平5-42488**

(43)公開日 平成5年(1993)2月23日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

B 25 C 5/02

識別記号

府内整理番号

Z 7181-3C

F I

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数1(全4頁)

(21)出願番号

特願平2-234260

(22)出願日

平成2年(1990)9月4日

(71)出願人

999999999

三浦 正久

東京都港区新橋3-7-3 第2ミドリヤ  
ビル3階三立エース内

(72)発明者

三浦 正久

東京都港区新橋3-7-3 第2ミドリヤ  
ビル3階三立エース内

(72)発明者

浜尾 慶光

東京都荒川区南千住1-40-3

(72)発明者

八巻 秀典

福島県原町市本陣前1-32

(54)【発明の名称】 ロータリーホチキス

(57)【要約】

電子出願以前の出願であるので

要約・選択図及び出願人の識別番号は存在しない。

1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 緞金装枠の先端部にU字形案内溝を有する。U

字形案内耳を左右に2組取付け、上記案内溝の内側には緞金推進片を上下に案内溝内をスライドできるように設け、U字形案内耳の上端部に設けた突起耳からコイルバネで緞金推進片を吊り下げるよう設ける。U字形案内耳に接して外枠を設けて、外枠上部には、円形リングを水平に設けて、外枠と結合し、円形リングにはこれと同寸大の円筒型ボルトを上向きに挿入する。別途、中枠の端には円形孔を明けて、これに上記円筒型ボルトを中枠下部から挿入した上、ナットで中枠上面から締め付け、中枠と緞金装枠付外枠とを合体させ、中枠に対して、緞金装枠が円筒型ボルトを回転軸として360度回転するよう設けて、緞金自体が360度回転して書類等を自在に任意の方向に緞込むことを可能としたことを特徴したロータリ

一ホチキス。

## 【発明の詳細な説明】

(I) 本発明は回転式ホチキスに関する。

(II) 現在一般に使用されているホチキスは全て、台枠、中枠、緞金装枠付上枠が1本の軸で固定され鉄状に作動するものであるので緞金(ステープル)がホチキスの方向に対して水平方向のみ作動するため、水平にのみ書類等を緞じていた。このため事実上書類を緞じるには、当該書類を一旦、横に揃えた上、これを再び横に向け直すなどして下方からホチキスで緞じねばならず、このため、一旦揃えた書類がずれるなど生じて甚だ不便であった。

(III) 本発明者らは上記の如き欠点を全面的に解決した回転式(ロータリー)ホチキスを発明したものである。ホチキスを構成する緞金装枠を鉄状軸から解放して独立させ、緞金装枠の先端に案内溝付案内耳とを設けて、この間には緞金推進片を設けた上、この上には回転リングを設けて、中枠と円筒型ボルトでつなぎ、円筒型ボルトを回転軸

として、中枠に対し緞金装枠が水平に360度回転できるようにして緞金の方向が任意に360度変更可能にした(全方向に自在に緞込みできるよう設けた)画期的な発明である。

(IV) 本発明を実施例を基に画面上から詳細に説明する。

台枠(1)と、中枠(2)と上枠(3)が、1本の軸(6)で鉄状に作動するように構成するホチキスの中枠(2)の下部に緞金装枠(5)を、これら上記枠に独立して設けた上、緞金装枠(5)

2

の先端部にU字形案内溝を有するU字形案内耳

(8)を緞金装枠(5)の先端部の左右に2組U字形案内溝が互に対面するように取付ける。このU字形案内溝の内側には、緞金推進片(7)を上下にU字形案内溝内をスライドできるように設ける。尚、案内耳の外側の案内耳はやゝ長く設けて緞金が外に飛び出さないようにする。U字形案内耳(8)の上端に突起耳(17)を設けて、この突起耳(17)からコイルバネ(14)で緞金推進片(7)を吊り下げるよう設ける。一方、U

字形案内耳(8)とこれに接する外枠(18)を設ける。(尚、この外枠(18)は8角型、又は円筒型とする。)外枠(18)の上部には円形リング(16)を緞金装枠(5)に対して水平に設けて、上記U字形案内耳(8)と外枠(18)とを結合する。、次に上記円形リング(16)には、同寸大円筒型ボルト(9)のボルトヘッドを下としてボルト先を上向きに挿入する。一方、中枠

(2)の端には上記円筒型ボルト(9)を挿入するための同寸大円形孔を明けて、この円形孔に上記円筒型ボルト(9)を中枠(2)の下部から挿入した上、円筒型ボルト用ナット(10)で、中枠(2)の上面から締め付け、中枠(2)と緞金装枠(5)付の外枠(18)を合体させ、中枠(2)に対して緞金装枠(5)付の外枠(18)が、円筒型ボルト(9)を回転軸として、360度回転するよう設ける。一方、台枠(1)の端に緞金誘導溝(4)を設け、この緞金誘導溝(4)は円盤状にした中央部位に突起山と周囲に谷を介して、ドーナツリング状山を設けて、如何なる方向に

緞金装枠が回転しても自在に緞じ曲げることができるよう設ける。一方、外枠(3)の端の上部にはと指掛け板(11)を設けた上、指掛け板(11)の下部には、金属ボルト(12)を設けて、指圧作動で金属ボルト(12)を押し下げ、U字形案内耳(8)の中の緞金推進片(7)が、これに連動して押し下げられ、緞金装枠(5)

内にある緞金(13)が、水平方向に360度回転して書類等を自在に任意の方向に緞込むことを可能としたことを特徴とした(回転式)ロータリ一ホチキス。

(V) 本発明に係る(回転式)ロータリ一ホチキスは、書類等を緞込む際には、書類等を縦に揃えた状態のまゝに緞金装枠を30度から340度位に夫々任意に回転させて作動させることで、書類等を縦に揃えたまゝに安易に緞込みすることができるようになった利益は多大である。又一方では本発明のロータリ一ホチキスの台枠・中枠等を長く

3

すれば製函（例えば、本ケースの作成）などにも  
容易となつた産業上の利益は計り知れない。

## 【図面の簡単な説明】

第1図は本発明の綴金装枠格納位置上での縦断側面である。

第2図は本発明の綴金装枠の平面図である。

第3図は本発明の台枠の平面図である。

第4図は本発明の綴金装枠を右90度回転した位置上での縦断側面図である。

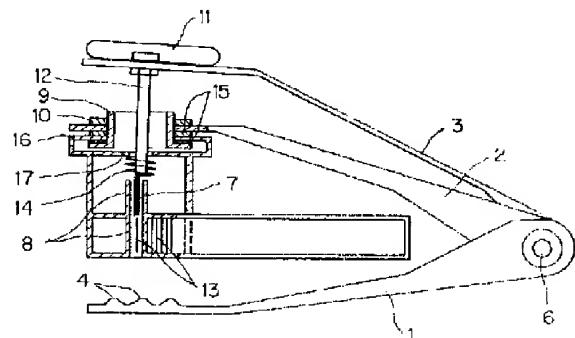
第5図は本発明の綴金装枠を右90度回転した

4

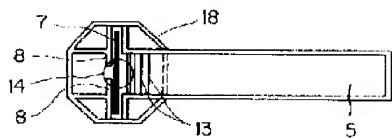
位置上の平面図である。

1. 台枠	2. 中枠
3. 上枠	4. 綴金誘導溝
5. 綴金装枠	6. 軸
7. 綴金推進片	8. 案内耳
9. 円筒型ボルト	10. (円筒型ボルト用) ナット
11. 指掛板	12. 金属ボルト
13. 綴金 (ステープル)	14. コイルバネ
15. ワッシャーリング	16. 円形リング
16. 突起耳	17. 外枠 (カバー用)
17. 突起耳	18. 外枠 (カバー用)

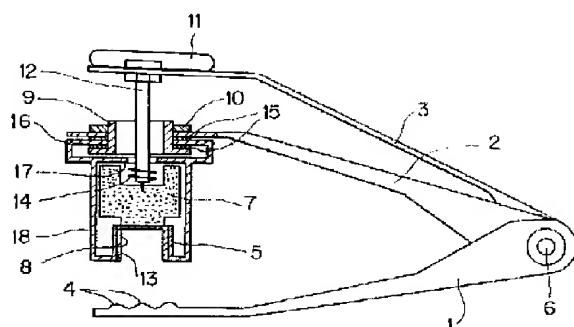
第1図



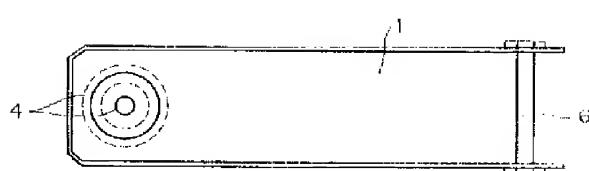
第2図



第4図



第3図



第5図

